

平成29年度第4回 鹿児島市地域情報化推進委員会 会議録

日時：平成30年1月31日(水) 11:00～11:40

場所：本館2階特別会議室

出席者：[委員] 出席9人(欠席1人) ※別紙のとおり

[事務局] 総務部長、情報システム課長、IT推進係長、担当者

会次第：1 開会

2 協議

(1) 第四次鹿児島市地域情報化計画(素案)に係るパブリックコメント手続の実施結果及び計画案について

3 閉会

議事概要：以下のとおり

発言者	発言内容
【協議(1)】第四次鹿児島市地域情報化計画(素案)に係るパブリックコメント手続の実施結果及び計画案について	
事務局	〔「資料1」「資料2」「資料3」等に基づき説明〕
<p data-bbox="368 875 603 913" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">意見・質疑応答</p> <p data-bbox="177 938 236 972">委員</p> <p data-bbox="177 1104 268 1178">委員長 委員</p> <p data-bbox="177 1310 268 1384">事務局 委員</p> <p data-bbox="177 1471 268 1505">事務局</p> <p data-bbox="177 1637 236 1711">委員 委員</p>	<p data-bbox="347 938 1415 1095">・資料1のNo.3、住民モニターに関する意見については、「各施策に対してモニター」というものであるが、我々委員は、全般的には意見は言えるが、詳しくその全てを見ていくことはできない。NPOとかをうまく活用して、細かい意見が吸い上げられるような仕組みがあるとよいと思う。</p> <p data-bbox="347 1104 1075 1137">・意見集約機能をもった組織を作っては、ということか。</p> <p data-bbox="347 1146 1415 1303">・NPOなどの団体に、各施策をモニターする人を決めていただき、定期的に市に意見を寄せるというような仕組みも有りなのでは。単に意見を受け付けるというだけでなく、NPOなどの団体がモニターとの間に入ることで、責任ある体制で、かつ予算をかけずにしてもらえないか。</p> <p data-bbox="347 1312 1190 1346">・計画を推進していく中で、ご意見は参考にさせていただきたい。</p> <p data-bbox="347 1355 1415 1467">・資料1のNo.6、QRコードについては、載せるところに載せればアクセス数が伸びたりする。どこでも載せればいいというのではなく、より効果的に、市民の皆さんが必要な情報をすぐ手軽に入手できるような仕組みになればいいと思う。</p> <p data-bbox="347 1476 1415 1632">・QRコードについては、例えば、募集のチラシに記載して、電子的な手続きやホームページなどのより詳しい情報へ繋ぐための手段として、その活用が想定されている。QRコード等の効果的な活用は必要だと考えており、ご意見は参考にさせていただきたい。</p> <p data-bbox="347 1641 1394 1675">・QRコードを効果的に活用するためには、しっかりと分析・検証する必要がある。</p> <p data-bbox="347 1684 1415 1796">・募集期間が36日間で、提出者数が10人というのは、多いのか少ないのか判断できないが、全体的には好意的な意見が多かったように感じたので、市が取り組もうとしている情報化計画の方向性は合っているものと考えられる。</p> <p data-bbox="347 1805 1415 2080">・桜島フェリーのモニターをしている。そのことで、船舶局が募集していたパブリックコメントに意見を提出したり、フェリーに乗る際にも、色々なことを注意して見るようになったり、また気付くようになったので、公募委員とはまた別な意味で、モニター制度があってもいいのかなと思う。ただし、情報化というのはかなり範囲が広いので、漠然とやるとなると結構大変だと思うので、これまでしていなかったような新しいことをするような時に、モニターになっていただくとか考え方を決めて、制度を設けてもいいのでは。</p>

発言者	発言内容
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 全体的な意見を求めるとなるとNPOとかの団体を活用したほうがよいとは思いますが、団体と個人を併用してもいいように思う。いずれにしても、予算はかけずに多分できるのではないか。
委員長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 新しい計画を実施する際、事務局としての考えを出してもらえたら。 • 計画の推進にあたっては、利用者目線に立ち、細かいご意見が吸い上げられるような仕組みというものを検討したい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 資料1のNo.18は、5Gが使えるエリアを優先的に整備してほしいとの意見だが、他のところにWi-Fiの整備のことが書いてあるが、Wi-Fiはセキュリティ的にはお勧めできない。携帯キャリアは、住民から要請があればコストを計算して、基地局を建てるかどうかの判断をしていると思うが、コスト的にペイしないと判断したときに、助成金のようなかたちで対応できないのかという気はする。
委員	<ul style="list-style-type: none"> • 資料1のNo.20にあるように、SuicaなどのICカードが鹿児島では使えないことは不便だと感じている。交通系ICカードの導入については、早めに取り組みられるようお願いしたい。 • 資料1のNo.13などに、ICTを使った学習についての意見があり、計画案に盛り込み済とのことだが、どれだけの人がICT講座のことを知っているのかというと、認知度が低いように感じるので、広報的などころについても連動した取組が必要のように思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> • 交通系ICカードの相互利用については、本市公共交通ビジョンの中に、その検討を位置づけているところであるが、「早めの導入を」というご意見については、関係課と情報共有を行うこととする。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> • ラピカは積み増しすると割増される。ICカードの検討となると一本化されてしまうおそれがあるが、市民サービスが低下しないよう、できればラピカとSuicaの併用が望ましいように思う。また、「西郷どん」のデザインにするなど、観光特産品として、ラピカを見直してみてもいいのでは。空港バスでも使えるので、空港で販売してもメリットはあると思う。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> • 今回のパブリックコメントでは、積極的な意見も多く見受けられ、情報化に対する期待も大きいものと判断している。 • 推進本部において、市民の意見を踏まえた検討を行っていただきたい。

平成29年度第4回 鹿児島市地域情報化推進委員会 名簿

No.	役職	氏名	所属		備考
1	委員長	ハギノ マコト 萩野 誠	鹿児島大学法文学部	教授	
2	副委員長	モリ タニヒコ 森 邦彦	鹿児島大学 学術情報基盤センター	センター長	
3	委員	カイ カオル 甲斐 薫	特定非営利活動法人 鹿児島インファーマーション	会員	
4	委員	カガワ アサミ 香川 麻美	KCS鹿児島情報専門学校	講師	
5	委員	カシワギ リサ 柏木 梨沙	公募委員		
6	委員	トクナガ アリサ 徳永 麻里紗	公益社団法人鹿児島青年会議所	監事	※欠席
7	委員	ナカノ シンゴ 中園 信吾	公募委員		
8	委員	フキドメ ヒロミ 吹留 博実	株式会社鹿児島TLO	代表取締役社長	
9	委員	ホリエ ジュンジ 堀江 順司	日本政策投資銀行南九州支店	次長兼企画調査 課長	
10	委員	マツモト 松元 まや	一般社団法人 鹿児島県情報サービス産業協会	理事	

※50音順(敬称略)